

<p>学校全体としての改善の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 全ての教科において、児童一人一人の実態に合わせた個別指導を充実させ、基礎的・基本的事項を確実に身に付け、自ら学ぶ意欲を育む指導を展開する。 * 各教科において、自ら課題を見付け、主体的に調べまとめる、問題解決型の学び方を身に付ける。 * 理科においては、問題解決学習を充実させ、児童が、主体的に学ぶこと自体の喜びやおもしろさを感じることができるようにする。 * ICT機器を活用し、教材を効果的に提示し、児童の興味・関心を高める。
<p>学校全体としての改善の取り組み</p>	<p>国語 「書く力」を高めるために、当該学年の漢字の定着を図り、日常的に辞書を活用して語彙力をつける。話し合いの学習では、相手や目的に応じた話し方を指導するとともに、相手の意図をとらえて話を聞くことを指導することで、発言内容と目的や意図を関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>社会 ICT機器やインターネットを活用し、自分が調べたい学習問題に対し、複数の資料から得た情報を基に多面的にとらえたり、組み合わせで言えることは何か考えたりする活動を計画的に設定する。</p> <p>算数 ティームティーチングや習熟度別指導等の授業形態を工夫し、基礎・基本の定着と補充的・発展学習などを実施し、学力の向上を図る。「グループ交流」「全体交流」など、自分の考えを互いに発表し合う場を設定し、立式の根拠を明らかにする力を育てる。</p> <p>理科 理科授業の基本的な学習過程を「自然現象に触れる(自然現象について考える)→問題把握→予想→実験・観察方法を考える→観察・実験→結果をまとめる→考察→結論→普段の生活へ生かす」とし解決すべき課題を正確に把握し、解決の仕方を考えられるようにする。</p> <p>体育 児童の能力を把握し、体育の授業を改善するとともに、全校運動を実施することで、児童の体力の向上と心と体の健康づくりを目指す。また、学習カードを活用し、児童が主体的に運動に取り組み、さらに思考力が高まるようにする。</p>